

日本共産党は 米朝関係の危機打開を

日本共産党の志位和夫委員長は8月12日(土)、米国と北朝鮮が軍事的恫喝の応酬をエスカレートさせている事態を憂慮し、危機打開を求める声明を発表しました。

声明は、①現在の危機を引き起こされた根本は、北朝鮮が、累次の国連安保理決議に違反して、核兵器・ミサイル開発を進めてきたことにあるとして、北朝鮮には、国連安保理決議を順守し、これ以上軍事的な挑発行為一とりわけ無謀さかまる「GRAM島周辺への包囲射撃」を中止すること、②北朝鮮国には、現在の危機を打開するために無条件で直接対話に踏み出すこと、③日本政府には、緊張をさらに高める軍事的対応の強化ではなく、米朝の直接対話を実現し、核・ミサイル問題を平和的に解決するための努力を求めています。

百害あって一利なし カジノは和歌山にも日本にもありません

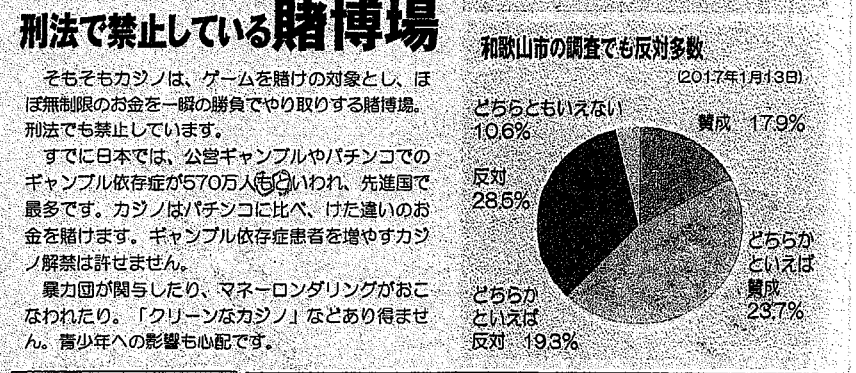


「人の不幸が儲けのタネ」のカジノに県や市が手を貸すのは大間違い

手をおげていますか...

「共同通信」(2016年12月18日「朝日」)でも賛成27%、反対64%

昨年、カジノ解禁推進法が強行成立しましたが、どの世論調査でもカジノ反対の声が圧倒的でした。



和歌山民報 2017年8月号外 発行/日本共産党和歌山県委員会 7640-8230 和歌山市、西長町2丁目33 電話 (073) 425-4111

カジノ設置反対ビラ まもなく全戸配布へ

西条市協力者 募集中!!

蒲刈流

8月14日(土)は、夏のある日のこと。甚平を着た男が友人を訪ねると、好物の餅をめぐって意地の張り合いになり、箱に入った餅を全部食べるはめに...。

上方落語の演目「蛇念草」です。▼蛇念草とは、うねばみ(大蛇)が人間を丸のみにした際に、なめると腹の張りが出るというわけの薬草。餅を食べ過ぎた男がそれを友人からもらって、たこを思い出し、口に入れてみたら...。人間が溶けて餅が甚平を着ていたというオチです。▼売言葉に「買言葉の末の笑い話ですが、こちらはそ水で済みません。軍事的な挑発を互いにくり返している米朝と北朝鮮です。国連安保理の新たな制裁に反発した北朝鮮は、GRAM島周辺への包囲射撃を検討していることを表明しました。▼一方、トランプ米大統領は「北朝鮮は必死に怒り」

に直面するところになるだろう」「彼(金正恩)がGRAMに何かしたら、誰も見たことのないようなことが北朝鮮で起きる」。軍事力を背景にした危険な脅し合いが続いています。▼「現在の緊迫した状況では、解決を誤れば偶発的な戦争につながるおそ水がある」。BB(ニュース)が伝えています。朝鮮半島の戦争は誰の得にもならないしなから、今も北朝鮮に停電が起きたら、そ水を彼らは先制攻撃の一部と考えるかもしれない。▼北朝鮮は「すでに我々の軍はアメリカ本土を目標に発射待機状態に入っている」と、さらに挑発しています。過激な舌戦の結果、軍事衝突を避け、犠牲と破壊をおかさないためにも自制と対話しか道はありません。

赤旗 日刊紙 3497号